



東京 2020 オリンピック・パラリンピック

4年に一度開催される世界的なスポーツの祭典、オリンピック(8月8日まで)・パラリンピック(8月24日～9月5日)が関東地方を中心に開催されます。今回は神崎市にゆかりのある、男子ハンドボール日本代表岩下祐太選手(トヨタ紡織九州レッドトルネード・表紙および3ページで紹介)と車いすテニス日本代表大谷桃子選手(令和2年西九州大学卒)を紹介します。市民の皆さんの応援をお願いします。

龍谷高校
剣道(団体)

2年 おがわ ゆうや 小川 侑也さん (千代田町原の町)



小川 侑也さん

全国高校総体に向けての意気込み

総体までに取り組んできた過程は、どのチームにも負けない自信がある。あとは自分たちの持っている力を全部出し切るだけ。

練習で心掛けていること

どのような練習内容でも試合を想定することを心掛け、きついときでも仲間と鼓舞しあい、妥協をしないこと。

剣道の魅力

礼儀を重んじ相手を敬うことで感謝の気持ちを持てることやいつまでも追求できる奥深さがあるところ。

佐賀女子高校
剣道(団体)

2年 とくがわ すずな 徳川 鈴菜さん (脊振町広滝東)



徳川 鈴菜さん

全国高校総体に向けての意気込み

初めての全国総体だが、自分の力を精一杯出してチームに負担をかけないように、チームに勝つ流れを作れるように頑張りたい。

練習で心掛けていること

しっかり声を出して細かいところまで集中して練習すること。目標は「試合は練習のように、練習は試合のように」

剣道の魅力

メリハリのついた練習ができ、一人一人に合った指導が受けられるところ。

東京パラリンピック 日本代表

おおたに ももこ
車いすテニス 大谷 桃子 選手 (西九州大学卒)

東京パラリンピックに向けての意気込み

金メダル獲得を目標に頑張りたい。

東京パラリンピック代表に選ばれた感想

大学に入学してから車いすテニスを始め、東京2020パラリンピック出場を目標に取り組んできたので嬉しかったし、安心した。

佐賀県の印象

自然豊かな環境でとても落ち着く。また温かく声を掛けてくれる人がたくさんいるので、今では私の第二の故郷だと思っている。



大谷 桃子さん

全国高校総体

高校生たちのスポーツの祭典・全国高等学校総合体育大会が、北信越地方を舞台に8月24日まで開催されます。

今回は、神崎市在住の全国高校総体出場生徒(県内5校、5名)を紹介しします。市民の皆さんの応援をお願いします。

◎問い合わせ 総務課 秘書広報係 ☎37-0088

(健闘を祈っています)



北陵高校
少林寺拳法

3年 かとう しょうだい 加藤 翔大さん (千代田町上犬童)



加藤 翔大さん

全国高校総体に向けての意気込み

5歳から始めた少林寺拳法の最後の大会なので自分の持っている技術をすべて演武に変え自分にしかできない演武で上位を取る。

練習で心掛けていること

基本を忘れないこと。

少林寺拳法の魅力

少林寺は「人づくりの行」という言葉があるように、単に人を倒したり、勝敗を争うスポーツではなく「人」を育てる武道であるところ。

佐賀東高校
なぎなた

3年 よねみつ うた 米光 詩さん (千代田町東野ヶ里)



米光 詩さん

全国高校総体に向けての意気込み

団体戦、個人戦の両方で上位入賞を目指し頑張りたい。

練習で心掛けていること

スピードをつけて打つこと。自分から先に攻め続けること。技をたくさん使うこと。

なぎなたの魅力

競技人口が少なく、仲間も同時期に始める場合が多いので、切磋琢磨しながら力を磨いていけるところ。

佐賀清和高校
バレーボール

3年 もとむら えりな 本村 江里奈さん (千代田町上西)



本村 江里奈さん

全国高校総体に向けての意気込み

これまでの佐賀清和の成績を超えて、日本一になること。

チームをサポートする上で心掛けていること

高い壁に当たっても、チーム全員で乗り越えられるように、前向きな言葉を掛けるように意識している。

マネージャーをしていて嬉しい瞬間

試合で勝った時に全員で喜ぶとき。

地域発展のために 建設業協会から寄付

7月1日



一般社団法人神埼建設業協会(牟田正明会長)から、青少年育成や地域発展のための各種イベント開催に役立ててほしいと、寄付をいただきました。

同会には市の発展のためにと毎年寄付をしていただいております。市長は「大変ありがたい。有効に活用させていただきます」と感謝の意を述べました。

いただいた寄付はハンギーマつり花火イベントや吉野ヶ里ロードレースなどに活用させていただきます。

フルコンタクト空手 3人が全国大会へ!

6月30日



新たに市内に開設され、活動をしている実戦空手道場「真道會」の三井所太陽くん、大地くん(神埼町本堀)兄弟、糸山小晴ちゃんが、11月23日に大阪で開催される「JKJO全日本ジュニア空手道選手権大会」出場を市長に報告しました。

太陽くんは「前回の全日本大会では3位だったので今回は優勝を目指したい」と抱負を述べられました。また、三井所兄弟の父一樹さんは「この大会を通じてフルコンタクト空手のことを認知してもらい、練習生を増やしたい」と話されました。

市の施設に 「顔認証体温計等」を寄贈

7月1日



佐賀県農業協同組合から顔認証体温計および消毒台を寄贈していただきました。

この体温計は、神埼市中央交流センター、千代田交流センター、脊振交流センターに配置しており、新型コロナウイルスの感染予防対策として使用させていただきます。

地区のことよく知って 「岩田の歴史」の冊子 寄贈

7月1日



神埼町岩田地区の福地善孝区長、田代高規公民館長から「若い人にも岩田のことを知ってもらうきっかけになれば」と地区の歴史、産業、暮らしの変遷などをまとめた冊子『岩田の歴史』を寄贈していただきました。

市長は「大変ありがたい。有意義に活用させていただきます」と感謝の意を述べました。

今回寄贈していただいた冊子は、市内の小中学校や図書館にも配布され、区長らは「子どもたちの調べ学習にも生かしてもらいたい」と想いを話されました。



Facebook アカウント名:くねんニャン
<https://www.facebook.com/kankoukanzaki/>



Instagram アカウント名:くねんニャン[公式]
<https://www.instagram.com/kunennyan0501/>



自転車も安全に! 夏の交通安全県民運動

7月14日



神埼清明高校の生徒や、交通安全協会、警察署などの関係団体による、夏の交通安全県民運動キャンペーンが行われました。

今回は、国道34号沿いの神埼清明高校の正門前で、ハンドポップを掲げ、ドライバーや、自転車の利用者に交通安全を呼びかけました。

神埼市内での事故発生件数は、6月末時点で人口千人あたり県内ワースト1位であるため、今後も啓発活動は継続的に実施される予定です。

安全を祈願 脊振山で山開き

7月2日



夏山シーズンを前に、脊振神社で山開き神事が行われました。

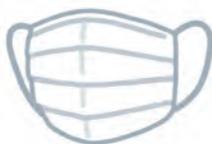
神事には、神崎市観光協会、市関係者など約25人が参列し、昨年同様、新型コロナウイルス感染防止対策を行いながらの神事となりました。

観光協会会長など代表者が神前に玉串奉てんを行い、これから脊振山を訪れる人たちの安全を祈願しました。

新型コロナウイルス 感染症に気をつけよう



3密(密閉・密集・密接)を避けましょう。



マスクの着用や手洗いもしっかりと。

※マスクの着用についての動画を作成しましたので、上のQRコードからご覧ください。

子どもの安全確保を願い ベストを贈る

7月12日



交通安全協会千代田支部から千代田町内の各小学校にメッシュタイプのベストが贈られました。

見守り隊の皆さんがベストを着用し、登下校時の子どもたちの安全確保の取り組みや各校区内の見守りを通して交通事故防止・犯罪被害ゼロを目指します。

職員への期待を寄せて

今年4月の新規採用職員は10人(市報5月号紹介)で、すでに神埼市職員となり4カ月が経過しようとしています。この間、職員は、さまざまな新規採用研修を受け、かつ上司や先輩職員の指導、教えを受けながら担当業務に励んでいます。

さらに、今後多く

◆新採時職員 研修計画一覧

時期	研修名	備考
4月	新採前期研修	県市町村振興協会主催、共通知識と心構え(3日間)
	新聞活用ビジネス研修	新聞の読み方と活用方法 他
5月	パソコン研修	Word、Excel、PowerPoint等の基本操作および応用
7月	消防学校入校研修	※コロナ禍のため中止
9月	新採後期研修	県市町村振興協会主催、高度な共通知識(2日間)
	5カ月経過研修	5カ月経過後の反省や今後の目標等について3役と意見交換
随時	若手研修会	採用3年以内職員対象研修(年5回程度)

◆階層別研修

時期	研修名	備考
採用後3年以上 6年未満	第1部研修	2日間
採用後6年以上 10年未満	第2部研修	2日間
採用後10年以上 15年未満	第3部研修	2日間
その他(新任係長、新任副課長、監督者、新任課長研修 他)		

研修計画が予定され、その研修受講とともに平素の自己研鑽を通して広い業務を担える立派な神埼市職員に成長してくれるものと、大きく期待を寄せています。

また、新採職員は、次の宣誓を行っています。

私は、ここに主権が国民に存することを認める日本国憲法を尊重し、かつ、擁護することを固く誓います。

私は、地方自治の本旨を体ずるとともに公務を民主的かつ能率的に運営すべき責務を深く自覚し、全体の奉仕者として誠実かつ公正に職務を執行することを固く誓います。

上記のように新採職員は多くの研修を受けることになっています。「鉄は熱いうちに打て」の諺ではありませんが、何事も最初が肝心だと思えます。

なお、市政業務に携わる職員は全員が、前述の宣誓を行っていますので、市役所のどこに配属され、所属しようがこの精神は変わるものではなく、日々の業務遂行、市民サービスへの心構えと結果を期待する所以であります。

話題は変わりますが「なんとなくなりたいたい」で選ばれがちな公務員の固定観念を打破した佐賀県職員の募集に関し、先月6月8日の佐賀新聞に「公務員と言った職種はない」と言った見出しで記事が載っていました。私はこれを読んで、「後世への最大遺物(内村鑑三著)」の解説本である一冊の本を思い出しました。「人生、何を成したかよりどう生きるか」(著者：内村鑑三 解説：佐藤優)です。

書中では「勉強して教師資格を習得することは、多くの者が可能であり、かつ、教職員採用も可能であるが、素晴らしい先生には誰でもなれるものではない」と言っています。同様に、

市職員採用までは、学び努力するが、一旦、採用されるとその自己研鑽とその努力を忘れてしまう者が往々にしてあると思われれます。この書の76ページに書かれていることを市役所職員の任用とその後の仕事への取り組みを重ねて思い浮かべると、各個人の天性もあるかと思いますが、職務遂行に対する絶対的自己向上への貪欲さを持つべきだと思います。何事に対しても創造力と発想力、それに、目配り・気配り・心配りを心掛ける気力を必要とするものだと思うからです。

機会ある毎に、職員のやる気向上の話を言い、実効ある意識改革から行動改革への改善を心掛けています。これからも、限られた職員とともに相互研鑽に努め、市民目線、立場で、市民の理解と協力を得ながら市民協働の神埼市づくりに努めてまいります。

(7月13日記)
神埼市長 松本 茂幸

市長交際費の公表

(令和3年6月分)

項目	件数	支出額(円)
弔慰	0	0
御祝	1	3,000
激励	0	0
会費	0	0
見舞い	0	0
その他	0	0
計	1	3,000

夜の市長室

どんなことでも構いません。皆さまの声をお聞かせください!

○今後の予定

とき	ところ
8月3日(火)	神埼市役所
9月7日(火)	千代田交流センター

18:00 ~ 20:00 (1組30分程度)
当日は来庁順です。

◎問い合わせ 総務課 秘書広報係 ☎37-0088

7月の脊振交流センター開催分は、4組4人でした。

※お住まいの地区に関係なくお越しいただけます。

※荒天などの場合は、開催の有無をお問い合わせください。